

平成28年10・11月 実施

市民企画講座

スマホに子守はなぜ危険？ —見直そう赤ちゃんとの時間—



●お問い合わせ (9:00~21:00)

TEL 022-282-4571

■休館日 月曜日・祝日の翌日・年末年始

楽しく地域の輪

沖野市民センター

仙台市教育委員会
公益財団法人 仙台ひと・まち交流財団

スマホに子守をさせるなど、乳幼児期からのメディア漬けは子供の認知発達に多大なる悪影響を及ぼしており、日本小児科医会を始め、子供に関わる機関など、その危険性に警鐘を鳴らしています。

そこで赤ちゃんを取り巻く様々な世代の方へ、その危険性について広く知っていただきたいということで今年の市民企画員がこの講座を企画・実施いたしましたのでご報告をいたします。

1回目 10月12日(水)10:00~

講話 「メディア漬けの予防は乳幼児から」

講師 教育カウンセラー/保育心理士

NPO ここねっと発達支援センター

理事長 佐藤 秀明 氏

託児付

申込人数 20人

参加人数 18人

2回目 11月9日(水)10:00~

実技 「わらべ歌&絵本で一緒に楽しもう！」

講師 きらきら文庫 佐々木文江 さん

” 前野 明子 さん

荒井さくらんぼ文庫 實井美知江 さん

申込人数 30人

参加人数 26人

“テレビやスマホを見せ過ぎることにより脳の発達が遅れ、その年齢にできることができなくなる恐れがある...よって発達障害と診断されることになる...日本小児科医は「2歳までのテレビ・ビデオは控えましょう。」と提言しています。”
今回の学びは驚きの事実を知ることになりました。
受講生の感想からお察しいただければと存じます。



受講生の感想

●とても勉強になりました。孫育てに少しでも取り入れられたらと思います。できる限り小さなお子さんをもっている方に(親に)今日のメッセージを届けてほしいと思います。特に保育所や幼稚園の先生の他に保護者の皆さんへもしっかり届くといいですが・・・

●テレビやスマホが悪いのは知っていましたが、電子音がそんなに悪いとは知りませんでした。今日からの子育て、気を付けていきたいと思います。またお話しを伺いたいと思いました。ピアノにも癒されました

赤ちゃんが最初にしゃべる言葉、喃語のことを「うんこ語り」と言います。0ヶ月児に正面から「うんこー!」「おんこー」と声をかけるといもの。赤ちゃんにたくさん声をかけて安心させることで「いつも人を感じている力」を身につけることなどに繋がります。親と子が触れ合う媒体として、絵本やわらべ歌の役割は大変大きく、今回、文庫活動している講師と出会い、学びを継続しているママの声を聞いております。



受講生の感想

●選りすぐりの絵本がたくさんあり、おもしろい絵本もあったので、探して読んでみようと思います。色々とドバイスありがとうございました。

●落ち着きがなくて、じっと先生のお話を聞く事ができませんでしたが、本やわらべ歌で、お家で遊んでいこうと思いました。

●絵本の読み聞かせも、わらべ歌も子供がすごく楽しかったようで、子供がいつもよりもはしゃいでいました。楽しい講座をありがとう。

●まだまだ知らない絵本がたくさんあって楽しかった。「おんこー」はぜひやってみたい。

7人の託児ボランティアさんが7人の子供たち(1人欠席)の託児デビューを支えました。託児室より

